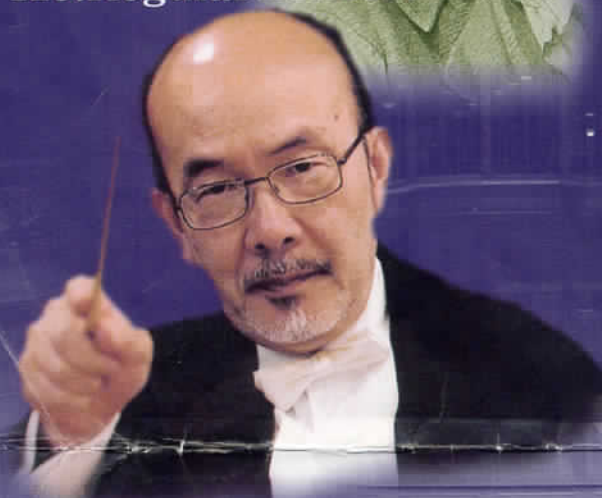




# モーツァルト室内管弦楽団 第125回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester  
125.Regulärkonzert



指揮:門 良一

コンサートマスター:岡田英治  
(元大阪フィルコンサートマスター)

ピアノ:小田切美穂



ソプラノ:西田真由子

2009年  
〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉第6回  
〈モーツァルトとハイドン〉その3

2008年9月27日(土)

2:00pm開演(1:30pm開場)

1時45分より門 良一によるプレトークがあります

## いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から徒歩3分、「京橋」駅から徒歩5分、  
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から徒歩5分。  
有料駐車場完備

入場料:一般 ¥4,500(指定席)

学生 ¥2,000(当日限定数発売)

※小学生よりご入場頂けます。

※前売一般券完売の場合、学生券の販売はありません。

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 協賛◆いずみホール(財団法人 住友生命社会福祉事業団)

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL.06-6135-0503 FAX.06-6135-0504 〒530-0041大阪市北区天神橋2-5-25-909

前売◆大阪アーティスト協会 050-5510-9645 いずみホール 06-6944-1188 電子チケット 0570-02-9990(Pコード 296-570)

ローソンチケット 0570-084-005(Lコード 58682)

- モーツァルト 交響曲 第36番 ハ長調 K.425 《リンツ》
- ハイドン ピアノ協奏曲 ニ長調 Hob.XVIII-11
- モーツァルト コンサートアリア 《私は行く、でもどこへ?》K.583
- モーツァルト コンサートアリア 《偉大な魂と高貴な心》K.578
- モーツァルト 《後宮からの誘拐》K.384 より  
ヨシスタンツェのアリア 《どんな苦しみが》
- ハイドン 交響曲 第96番 ニ長調 Hob.I-96 《奇蹟》





## 『ハイドンを忘れてもらっては困ります』

モーツァルトはその生誕250年を世界中が祝った。ベートーヴェンは不動の人気を誇っている。〔ウィーン古典派〕と呼ばれる3巨匠のうちで筆頭であるべきハイドンは、この二人の後塵を拝しているのが現状である。だが、もしハイドンがいなければ、モーツァルトやベートーヴェンの交響曲も弦楽四重奏曲もこの世に存在しなかつたろう。クラシック音楽の基本スタイルはハイドンによって創造され確立されたのである。また、ハイドンの音楽の持つ健康さとユーモア、そして品格ある秩序感は、今の世に最も必要とされるものであろう。モーツァルト室内管弦楽団はハイドン復興をめざし、2009年の没後200年に向けて〈ハイドン・シリーズ〉を行っている。

『ハイドンを忘れてもらっては困ります』—これは、フランス映画「ハンカチのご用意を」の中で、主人公の少年がモーツァルトばかり聴かせる音楽教師に対して抗議することばである（川本三郎著「東京つれづれ草」より引用）。



### モーツァルト室内管弦楽団 / 指揮・門 良一

Mozart-kammerorchester / Ryoichi Kado, Dirigent

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、38年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠として定期演奏会を、また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス（'85、'87年）、シブリアン・カツァリス（'93、'94年）、ペーター・ダム（'83、'86、'88、'98、'00年）、ウィーンフィル木管アンサンブル（'86年）、ライナー・キュッヒル（'90年）らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シティオペラとの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」（毎日新聞）、「この楽団は注目」（朝日新聞）。



### 小田切美穂 ● ピアノ

Miho Odagiri, Klavier

京都市立芸術大学卒業後渡独し、98年ミュンヘン国立音楽大学大学院修了。01年ウィーン国立音楽大学にてディプロムを取得。その後、ブルーノ・カニーノ氏の下で研鑽を積み、07年ミラノのマルツィアリ音楽院にてディプロムを取得して帰国。留学中は大阪をはじめ、スイス、イタリアでもリサイタルをする他、数々のコンサート、音楽祭にも出演している。和木ピアノコンクール審査員特別賞、第11回園田高弘賞ピアノコンクール第3位、第4回デニス・リパッティ国際ピアノコンクール（ブカレスト）第2位。これまでにミュンヘンシンフォニカー、ルーマニア国営放送交響楽団、大阪シンフォニカー交響楽団と協演。現在、奈良女子大学文学部非常勤講師。



### 西田真由子 ● ソプラノ

Mayuko Nishida, Sopran

神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻及び声楽専攻卒業。07年3月関西二期会室内オペラシリーズ「秘密の結婚」にカロリーナ役でオペラデビュー。新聞、雑誌等で「キャラクターが抜群でとてもいい」と絶賛される。同年6月、07年11月にはモーツァルト室内管弦楽団と協演。第1回エルビス声楽コンクール第3位、第19回和歌山音楽コンクール声楽一般の部奨励賞、ノーヴィ国際音楽コンクール奨励賞受賞。これまでにピアノを前中明子、松島恵子の各氏に、声楽を若本明志、樺田真須子の各氏に師事。現在、関西二期会準会員。